

令和3年度事業計画

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

I 運動推進事業

1 海洋・海事思想の普及

(1) 美ら海体験教室事業

一般財団法人近藤記念海事財団との共催により、沖縄地区において14回目となる珊瑚移植体験と海浜清掃等の海洋環境学習とマリンスポーツ体験を組み合わせた海洋体験教室を実施する。

(2) 我ら海の子展事業

一般財団法人サークルクラブ協会との共催により、全国の中学生、小学生及び幼児から船舶、海や船で働く人などをテーマにした絵画を募集して絵画コンクール「第49回我ら海の子展」を開催する。表彰された作品は国土交通省展示コーナー、銀座ギャラリー、横浜港氷川丸、琴平海洋博物館等において展示する。

(3) 褒状山縣賞事業

一般財団法人山縣記念財団の協力により、褒状受賞の卒団者で特に優秀な者を表彰し、その功績を称え、若手指導者として更なる海洋少年団活動への取り組みを奨励するため、山縣勝見氏の名を冠した褒状山縣賞の授与と海事研修を開催する。

2 海洋少年団運動の広報

(1) 「海の月間」関連行事等へ参加・協力し海洋少年団運動の普及に努める。

(2) 機関紙「海っ子」を隔月発行し、各団、関係機関・団体、図書館等に配布する。

(3) ホームページ、facebookを活用し、海洋少年団に関する情報をインターネットにより国内外に発信する。

(4) 日本連盟音楽隊による演奏活動を通じて海洋少年団運動を広報する。

(5) ポスター、パンフレット等を作成し、各団、関係機関等に配布する。

(6) 海上保安庁等の関係機関と連携し、各種行事を通じて海洋少年団運動をPRする。

(7) 日本海洋少年団創設70周年記念誌発行。

3 海洋少年団運動の拡充／推進／強化・活性化

(1) 運動の拡充

イ 団会員名簿の更新等の確かな団会員の把握及び名簿管理を行うとともに、新会員に対して会員証を作成・発行する。

ロ 新団設立等の経費、新入団員の制服購入費等の一部を助成する。

ハ 海洋活動器材の整備等を進める。

(イ) カヌー等の整備

(ロ) 救命胴衣の配布

(ハ) カッター等の器材修理

ニ 積極的な海洋少年団活動を推進するため、損害賠償責任保険に加入する。

(2) 運動の推進

- イ 地域貢献、地域交流等の核となる地区連盟等の活動に助成する。
- ロ 事務局長会議、団長会議を開催する。
- ハ 指導者資格審査委員会を開催し指導者の登録を図り、指導体制を維持管理する。
- ニ 関係機関・団体等との連携を強化し、海洋少年団運動を推進する。
- ホ 海洋少年団運動に功績のあった団体、個人等を表彰する。

(3) 運動の強化・活性化

- イ 各地における新団結成活動を促進するため、日本連盟等から職員を派遣する。
- ロ 日本連盟主催により上級指導者養成研修を行なう。
- ハ 各地区連盟が主催する指導者養成研修に対し助成を行なう。
- ニ 各地区連盟が主催する地区大会に対し助成を行う。
- ホ 新規団員獲得や団活動の活性化を図るチャレンジングな活動に対し助成を行う。

4 海洋環境教育・地域貢献の推進

- (1) ビーチコーミング等の海洋環境保全活動を行う。
- (2) 公益社団法人日本水難救済会の「青い羽根」募金運動に協力するなどの地域活動に貢献する。
- (3) 地域の団体、子供達と協力し、地域活動に積極的に貢献する。

II 全国大会事業

横浜において令和4年8月に開催予定の第55回全国大会に向けての準備を推進する。

III 国際交流事業

- 1 国際海洋少年団協会（ISCA）年次総会に代表団を派遣する。（開催国未定）
- 2 国際委員会を開催し、国際交流の方針、次年度の事業計画、収支予算書等について審議を行う。
- 3 国際海洋少年団協会加盟国の少年団からの招請に基づき派遣団を編成、派遣する。

IV 需品事業

- 1 日本海洋少年団連盟規約に基づき、制服、制帽及び徽章類を作成して頒布・販売する。
- 2 海洋少年団グッズを作成して頒布・販売する。